

● 最新事情 循環器センター 心臓血管外科 / 眼科 (中面) ● 北部病院からのお知らせ (裏面)

2023年 集中治療における遠隔医療 (eICU) を開始



集中治療室運営委員会 委員長
麻酔科 診療科長・教授
しだ けんじ
信太 賢治

昭和大学では、集中治療における遠隔医療 (tele-ICU) をアジアで初めて導入し、showa eConnectと名付け2018年4月から運用を開始しました。当初は昭和大学病院内の3ユニットと昭和大学江東豊洲病院のICUで運用が開始されましたが、2023年度より昭和大学横浜市北部病院と昭和大学藤が丘病院のICUを加えて、計98床で運用が開始されます。

tele-ICUとは、集中治療専門医が不足している現状を踏まえ、複数のICUをネットワークで接続し、その情報を現場から離れた昭和大学病院内の支援センターにいる集中治療専門医が閲覧し、現場ICUのスタッフや患者さんと双方向通信でつなぐことで支援するものです。tele-ICUを導入した米国では、ICU死亡率、病院死亡率、ICU入室期間それぞれが改善すると報告されています。

昭和大学ではフィリップス社の「eICU」システムを用いています。このシステムは400万例以上の臨床データを元に開発された患者さんの異常を察知するモニタリング技術を用いています。2018年に昭和大学のeICUが開始されたことにより、昭和大学の全ユニットの平均重症度は年々上昇しましたが、重症化とは別に死亡率は改善しました。また、ユニット間の連携が強化されたことで、ベッド利用率が改善しました。

支援センターには、集中治療専門医だけでなく、訓練を受けた認定看護師や医師事務補助者も配置されており、24時間体制で全ベッドのモニタリングを行っています。支援の基本的考え方は、予防的対応・継続性・現場の要望から成り立ち、患者さんの完全社会復帰を目標としています。支援センターへのコンサルテーションは原則的にDr to Dr、Ns to Nsのように職種ごとに行われておりますが、現場からの要望により医師看護師合同のtele-カンファレンスも行われます。

eICUの運用が開始されることで、医療の質の向上や医療の効率化が期待されます。引き続き、地域医療機関の皆様と連携を図りながら、患者さんが良質な医療を受けることができるように努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。



支援センター



オンライン・ビデオ・システム
(提供：株式会社フィリップス・ジャパン)

循環器センター 心臓血管外科 最新事情



心臓血管外科
診療科長・教授
おくやま ひろし
奥山 浩

現在の心臓血管外科チームがスタートし7年が経過しました。この間地域医療機関の皆様方には多くのご支援ご協力をいただき感謝いたしております。

2023年4月より新たに心臓血管外科診療科長に奥山浩が就任しました。循環器センター長南淵明宏とともに、この新体制で引き続

き神奈川地区をはじめ関東全域での心臓血管外科手術の基幹病院となることを目標に日々精進していきたいと考えております。



循環器センター長
特任教授
なぶち あきひろ
南淵 明宏

心臓血管外科の歴史の中で重要とされる一つとして心拍動下バイパス術の先駆者である南淵明宏センター長がその手技を全国に普及、教育してきた実績があります。その精神、技術を学びながら現在当院では後天性心疾患の広範囲な手術を施行、多くの患者さんへ貢献、心臓外科医の育成、指導を行っています。

当院に赴任してから優秀な人材育成として心臓血管外科専門医に2名、外科専門医に3名が合格、また多くの体外循環認定臨床工学技士を生み出してきました。さらに2023年1月、中川博文が心臓血管外科専門医の修練

指導医を獲得、現在指導医3名と充実した基幹施設となりました。

新たに4月から外科専攻医1名を迎え、これら優秀なスタッフ7人体制で診療を行ってまいります。

これまでの当院の開心術症例数は、1400例強（2016年から2022年）と信頼のおける症例数と評価されています。引き続き地域の医療機関の先生方との連携を保ち、より良い医療を提供できるように循環器センターとして心臓血管外科、循環器内科両スタッフが一丸となり貢献してまいります。

地域医療機関のみなさまへ

当心臓血管外科では円滑な運用、患者家族の不安解消などの目的で病院側、患者側の架け橋となるコーディネーター（深津より子）を設けております。

心臓病が疑われる場合はご相談いただければスタッフ全員で対応いたします。今後も地域医療に貢献できるよう努力いたします。

眼科 最新事情



診療科長・教授
ふじさわ くにみ
藤澤 邦見

2023年4月より、昭和大学横浜市北部病院眼科に診療科長・教授として赴任いたしました藤澤邦見です。眼科では、2023年4月に医師の異動がありました。薄井准教授、岡田が退職し、遠藤講師が昭和大学病院附属東病院に異動となり、東病院から私と禅野講師が赴任しました。横山、木佐貫、和田、石田は変わらず、医師6名で診療を行います。

今年度以降も白内障と網膜硝子体疾患などを中心に、変わらず診療させていただきます。

最新事情ですが、白内障手術でメガネがいなくなる！というのを聞かれたことがあるかと思いません。白内障手術で挿入する眼内レンズを多焦点レンズにすることで、メガネを使用する機会がぐっと減ります。見え方の要求は人それぞれに違うので、全くメガネがいなくなるわけではないと考えてください。多焦点レンズは前からありますが、最近、多焦点レンズで手術を受ける方が医師も含めてどんどん増え、ほとんどご満足を得られている印象です。私自身、もし受けるなら、間違いなく多焦点レンズを希望します。

多焦点レンズは図に示すように同心円状のスジがはいっており、複雑な構造です。光学系はシンプルが一番ですから、一点を見る性能では、単焦点レンズにわずかに劣ります。追加費用が概ね片眼30万円弱かかり、多焦点レンズの特徴を理解していただくことは大事です。北部病院には、昭和大学関連病院で唯一の術中波面収差解析装置があり、これを用いることで、多焦点レンズの度数選びの精度が上がります。特に、レーシックなどをすでに受けている方では、この装置で精度改善効果が高いです。この装置は、手術の真っ最中に、その目にとって適切な度数のレンズを検出する装置で、精度改善や間違いレンズの挿入を防ぐ効果があります。

多焦点レンズについて、さらに詳しく知りたい方は、眼科医師に聞いていただけたらと思います。



多焦点レンズ

2022年 昭和大学横浜市北部病院 眼科手術統計

白内障手術	1,291 件
網膜硝子体手術	256 件
緑内障手術	103 件
眼瞼手術	89 件
その他手術	32 件
硝子体注射	1,168 件

地域医療機関のみなさまへ

これまで同様、ご紹介患者さんに真摯に対応いたします。白内障、緑内障、網膜硝子体疾患、など眼科関連の患者さんのご紹介をよろしくお願ひします。

多焦点レンズ白内障手術は、多くの方が十分に満足を得られる手術になっています。ぜひ、ご相談だけでも、ご紹介をいただければと思います。

北部病院からのお知らせ

1 診療科の新設等について

2023年4月から、

- 外科系診療センターに「乳腺外科」を設置しました。
- 「歯科・歯科口腔外科」を「病院歯科」と名称変更しました。

診療内容等については、今後の病院だよりや診療科ガイド、地域医療連携ニュースでお知らせしてまいります。

また、4月に多数の医師について異動がありました。詳細は別途お知らせいたします。

地域医療機関の先生方におかれましては、引き続きご指導・ご鞭撻いただきますよう、お願い申し上げます。

2 北部病院 ゴールデンウィーク対応 2023年

	日付	曜日	休日名	診療状況
4月	28日	金		通常診療
	29日	土	昭和の日	休診
	30日	日	日曜日	休診
5月	1日	月		通常診療
	2日	火		通常診療
	3日	水	憲法記念日	※救急対応を原則とし、救急、初診、紹介、並びに通院中の方で状態変化による臨時再診をお受けします。 ※紹介状がない場合は選定療養費(8,800円)が別途発生いたします。
	4日	木	みどりの日	
	5日	金	こどもの日	
	6日	土		通常診療
	7日	日	日曜日	休診
8日	月		通常診療	

3 地域医療連携フォーラムについて

第26回地域医療連携フォーラムをWEBで開催しました(2023年2月15日)

講演:「AIが変える大腸内視鏡検査」(消化器センター 講師 三澤将史)

「肺癌診療のUp to Date」(呼吸器センター 教授 北見明彦)

院内外から70名の参加がありました。ありがとうございました。

2023年度の地域医療連携フォーラムの予定は次のとおりです。

開催方法・内容等は後日お知らせします。ご参加のほどお願い申し上げます。

● 地域医療連携フォーラム 開催予定

- | | | |
|------|----------------|---------|
| 第27回 | 2023年6月22日(木) | 19:30から |
| 第28回 | 2023年11月22日(水) | 19:30から |
| 第29回 | 2024年2月22日(木) | 19:30から |